

平成 25 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

事務事業名	上山田～下山田線歩行帯整備工事	予算事業名		担当課	田園都市課						
会計名称	一般会計	予算科目	8 款 2 項 5 目	所属長名	實淵孝則						
総合計画での位置づけ	豊かな自然と暮らしの便利さが調和したまちをつくる			担当責任者名(記入者)	城戸 貞人						
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等	道路法							
事業の対象	当該道路利用者		実施期間	【開始年度】	平成 25 年度						
				【終了年度】	平成 25 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし						
事業の目的	町道上山田～下山田線は通行量が多く通学路でもあるが、一部区間に蓋無し水路があり危険である。また平成24年の通学路緊急点検においても要対策箇所として指定されている(福岡県・粕屋署・町教育委員会・田園都市課立会)。このため転落防止を目的として水路に蓋を設置し歩行帯を整備するもの。		事業の内容	工事延長47.9m、床板設置							
改善策の具体的な取り組み(当初)			改善策の具体的な取り組み(二次評価後)	当初施工内容に加え、歩行者保護のために歩車道境界にガードパイプ・支線誘導標およびポストコーン設置作業を行った。							
事業費及び財源内訳 (千円)											
項目		24 年度決算	25 年度予算	9月末の執行状況	25 年度決算						
事業費	直接事業費		2,500		2,529						
	人件費										
	合計		2,500		2,529						
財源内訳	国庫支出金										
	県支出金										
	地方債										
	その他										
	一般財源		2,500		2,529						
事務量	① 人工数										
	② 人件費単価	7,289	7,073	7,073	7,073						
	③ 補助事業人件費										
	人件費(①×②-③)										
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)		26 年度	27 年度	28 年度	29 年度						
					30 年度						
		5年間の合計									
成果指標	施工延長(単位:m)	区分年度	24 年度	25 年度	26 年度						
指標設定の考え方	問題箇所の危険が本工事に解消されるため。	実績		47							
		目標		47							
今年度の課題への対応状況(途中経過)											
事業の一次評価	自己評価(担当者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15:A 10~13:B 8~9:C 5~7:D 3~4:E	A	自己の課題認識	床板設置に加えガードパイプ等を設置することにより、歩行者の安全をより盤石なものとする事ができた。		
			町民ニーズへの対応	5 4 3 2 1	5						
			町の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	4						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5							
		コスト効率	5 4 3 2 1	5							
		受益者負担の適正	5 4 3 2 1	5							
	所属長の評価	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5	合計点が 14~15:A 10~13:B 8~9:C 5~7:D 3~4:E	A			所属長の課題認識	通学路の緊急点検箇所ということもあり、現況で早期施工可能な対策を実施したが、本来必要な歩道幅員は確保できていない。
			町民ニーズへの対応	5 4 3 2 1	5						
			町の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	4								
	コスト効率	5 4 3 2 1	5								
	受益者負担の適正	5 4 3 2 1	5								

事務事業名	上山田～下山田線歩行帯整備工事	予算事業名		担当課	田園都市課
会計名称	一般会計	予算科目	8 款 2 項 5 目	所属長名	實淵孝則
総合計画での位置づけ	豊かな自然と暮らしの便利さが調和したまちをつくる			担当責任者名（記入者）	城戸 真人
				電話番号（内線）	
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等	道路法	
事業の対象	当該道路利用者		実施期間	【開始年度】	平成 25 年度
				【終了年度】	平成 25 年度（予定） <input type="checkbox"/> 設定なし
事業の目的	町道上山田～下山田線は通行量が多く通学路でもあるが、一部区間に蓋無し水路があり危険である。また平成24年の通学路緊急点検においても要対策箇所として指定されている（福岡県・粕屋署・町教育委員会・田園都市課立会）。このため転落防止を目的として水路に蓋を設置し歩行帯を整備するもの。		事業の内容	工事延長47.9m、床板設置	
改善策の具体的取り組み（当初）			改善策の具体的取り組み（二次評価後）	当初施工内容に加え、歩行者保護のために歩車道境界にガードパイプ・支線誘導標およびポストコーン設置作業を行った。	

（担当責任者） 自己評価	妥当性	目的の妥当性	5	A	A	5	目的の妥当性	妥当性	一次評価	
		町民ニーズへの対応	5				5			町民ニーズへの対応
		町の関与の妥当性	5				5			町の関与の妥当性
	有効性	事業の効果	4	A		5	事業の効果	有効性		
		成果向上の可能性	5			5	成果向上の可能性			
		施策への貢献度	5			5	施策への貢献度			
	効率性	手段の最適性	5	A		4	手段の最適性	効率性		
		コスト効率	5			5	コスト効率			
		受益者負担の適正	5			5	受益者負担の適正			
課題認識	床板設置に加えガードパイプ等を設置することにより、歩行者の安全をより盤石なものとする事ができた。				自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。				課題認識	
					通学路の緊急点検箇所ということもあり、現況で早期施工可能な対策を実施したが、本来必要な歩道幅員は確保できていない。					

施策を踏まえた判断	二次評価（所属長）	<input type="checkbox"/>	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。  一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。  行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		<input type="checkbox"/>	町民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。			

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 【評価 B：事務事業の進め方の改善を検討する必要がある。】  必要性、安全性のためには継続すべき事業であることは間違いがないが、新設、補修工事の優先順位の考え方が数値化やランク付けにより客観的にわかるような工夫が必要である。道路ストック点検事業の完了後、優先順位を明文化することが必要だと考える。
------------	------	---

経営者会議の最終判断	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。	コメント欄	現在行っている道路ストック点検事業が平成28年度中に終わり、その完了後には優先順位を定める予定である。優先順位については順番ではなく、ABC等のランク付けを行い、それを基に事業計画を作成するとともに予算措置等を行って事業を実施する。
------------	--------	--	-------	--